

No.1

ごみ減チャレンジ

推進員からのお知らせ

おいそ廃棄物減量化等推進員とは
各地区から推薦された方が地区に対して分別や減量化の指導及び普及啓発を行います。

集積場所の現状確認を行いました！

○今年度は、ごみ集積場所の巡回を行い現状確認しました。ごみ集積場所ではごみの多い所、ネットのかけ方が悪い所などは頻りに荒らされています。そこで地域の方々が工夫してカラス除けをしている方法を紹介します。できることから取り組んでみませんか？



▲集積場所現地確認の様子

ごみ袋はネットやシートにしっかり入れましょう！

○可燃ごみの中には草や葉だけのごみ袋も多く存在します。これらはカラスの被害に遭わないので、ネットの外側に置き、ネットの中の生ごみをガードするように置くことでカラスの被害を減らすことが期待できます。

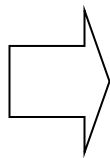
ネットやシートの外側に落葉や枯葉を置きましょう。



重さのあるものを置き、ネットが風などで開かないようにしましょう。

ネットの隙間を無くしましょう！

○カラスはネットの横の隙間からごみ袋を引き出します。ネットとガードレールやフェンスの三角形になっている空間を塞ぐことでカラス被害を減らすことができます。



折りたたみ式の網かごもあります！

○ごみ集積場所は利用しているの方々により管理されています。利用している方々で検討し、協力し合うことにより、集積場所の改善をしていくことができます。箱型の収納箱に変更することで状況が改善された集積場所もあります。箱型の収納箱には市販の折りたたむことができるものや、各地区の協力により作っていただいたものがあり、町内各地で増えています。



ごみを減らしましょう！

○現在、大磯町では1日1人当たり約900gのごみを排出しています。ごみ排出量を減らすことで町が負担する費用を減らすことができます。

1人あたり約50g(たまご1個分)のごみを減らす努力をしてみましょう。特に生ごみは可燃ごみ中の3～4割と大きな割合を占めています。生ごみの減量については、水切りの徹底や、食べ残しをしないこと、生ごみ処理容器や電動生ごみ処理機を活用するという方法もあります。家庭での工夫や生ごみ処理機を活用して生ごみの減量にチャレンジしてみましょう。



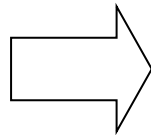
▲コンポスター実践の様子

生ごみ処理容器の効果を確認しました！

○今年度、コンポスターやキエーロという生ごみ処理容器を実際使用し、効果を確認しました。コンポスターは土の中の微生物やミミズの力を借りて、落葉や生ごみを**堆肥化する**ものです。キエーロも土の中の微生物の力を利用して生ごみを処理しますが、生ごみの他にみそ汁や廃食用油も入れることができ、**虫や臭いが発生しづらく、土の量が増えることはありません。**

コンポスター

投入時



2週間後



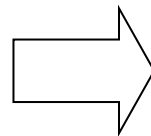
生ごみは発酵され堆肥になり、家庭菜園や畑で使用することができます。



▲コンポスター

キエーロ

投入時



1週間後



生ごみは1週間程度で分解され消滅します。虫や臭いが発生しづらく、処理速度が速いのが特徴です。



▲キエーロ

補助制度について

生ごみの減量に向け、町では下記の方策を行っています。ご家庭の環境に合った、最適な生ごみ処理の方法を選択してみてください。

- ・電動生ごみ処理機の購入費補助
- ・生ごみ処理容器（コンポスター、キエーロ、ミラコンポ）のあっせん販売

詳しくは町のホームページをご覧ください。環境課（TEL72-4438）までお問い合わせください。

あとがき

今年度、おいそ廃棄物減量化等推進員は集積場所の現地確認や生ごみ処理の方法について実践、活動してきました。集積場所を巡回して現状を知り、改善策を検討し、地区に持ち帰ることで、状況が改善された集積場所もあります。生ごみの減量化についても知識を深めることができました。推進員の中には実際に家庭で生ごみ処理容器の使用を開始した方もいます。今後もこのような実践活動を継続させ、地区の実状に合ったごみの減量化を推進したいと考えています。